

教職員の長時間労働の解消を



公約実現めざし質問しました

狛江市で過労死ラインを超える残業をしている教職員は
小学校で10名（約5%）、中学校で13名（約14%）

6月議会で私、荒木てつは教職員の長時間労働解消など教育環境の充実について質問しました（写真）。

教職員の長時間労働では、

市側から今年4月と5月の勤務実態が報告され、狛江市の小中学校で、約半数の教職員が月45時間以上残業しており、過労死ラインの月80時間を超える残業をしている教職員も両月ともいて、5月は、小学校10名（約5%）、中学校で13名（約14%）いることが明らかとなりました。また今年度は小学校1校で教職員が欠員となっています。

いま教職員の長時間労働と教員不足が社会問題になって

あり、新任の教員が1年以内にやめるケースが相次いでいると報道されています。

学校を訪問し実態を調査

私は、今回の質問にあたり、三小、六小、二中を訪問し校長先生や副校長先生から「夜9時近くまで残業している先生もいる」「30人学級などークラスの人数を抑えることで、教職員の負担が大幅に軽減する」などのお話しも伺いました。

教職員増員、30人学級を

私は質問で、こうした話を紹介し、教職員の長時間労働を解消するため、国や都にも働きかけ、教職員の増員と30人学級の実現をすすめてほしいと求めました。しかし教育部長や教育長は、まずは35人学級への対応を行なうとの答弁のみで、国や都への働きかけについては、明確な答弁はありませんでした。

教職は魅力ある仕事

私は長年、教職の仕事に就いてきましたが、本来、教職は、大変魅力ある仕事です。子どもを教えるという立場で

ありながら、子どもから教えられることも多くあり、子どもの成長と共に自分も人間的に成長できます。

昨年の12月議会では、日本共産党市議団が呼びかけた、教職員の増員を求める意見書が賛成多数で可決されました

（自民のみ反対）。私、これを力に、教職員の増員と30人学級を早期に実現するためがんばります。

- ① 猪方樋管―排水ポンプの用地確保早く
- ② 水位計の異常の改善を
- ③ 防災ラジオの利用拡大を

私は6月議会で災害対策強化を求めました。

所有者と折衝を行なっている」と答えました。

「一般市民への利用拡大については総務部長が「先進自治体の事例も参考に検討していく」と答えました。一歩前進の答弁です。

市「用地確保は土地所有者と折衝中」

猪方樋管への排水ポンプの設置について用地確保を急ぐよう求め、環境部長は「土地

市「新たな水位計を設置する」

6月はじめの豪雨の際、猪方樋管の水位計が急に3メートル以上跳ね上がった問題について同部長は「水位計の不具合があった。新たな水位計を設置する」と答えました。

市「防災ラジオの利用拡大検討する」

防災ラジオの利用拡大については、福祉保健部長が、「現在、ひとりでは避難が困難な方々で避難計画を作成した方に無償貸与しているが、今後、避難計画を作成していない方々にも無償貸与できるように



4年前の台風で浸水した六小正門から猪駒通りに向かう道路

裏面に視覚傷害者への支援、路面標示改善、防犯カメラ・街路灯設置など

音響信号機の設置を



音響信号機設置の要望のある「きらぼし銀行前交差点」を調査



市議会議員 荒木てつ

私、荒木てつは6月議会で視覚障がい者への支援について質問しました。

命がけで渡る

いま狛江市には視覚傷害者が113名います。視覚傷害者は、音響信号機のない交差点では、車の走る音と停車する音を聞き分けて横断歩道を渡っています。知り合いの視覚傷害者は、横断中に何度も車に轢かれそうになったといいます。

2017年12月7日には、都内駒込駅近くの交差点で音響信号機のある横断歩道上を歩いていたら視覚傷害者の男性が、音が停止していた早朝に車にはねられて死

視覚傷害者への支援を求めました

市「調布署に要望伝える」

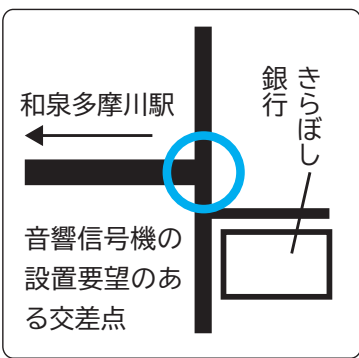
亡すという痛ましい事故が起きました。

視覚障がい者が命がけで横断歩道を渡らなければならぬ状況は一刻も早く改善しなければなりません。

私は、住民から要望のあった「きらぼし銀行和泉多摩川支店」前の交差点への音響信号機の設置を求めました。またお会いした視覚傷害者から要望のあった、音響信号機を作動させるためのリモコン装置、シグナルエイドの普及や「狛江駅からあいとびあセンターまでの歩道への点字ブロックの設置」を求めました。

音響信号機は8カ所シグナルエイド保持者は2人のみ

福祉保健部長は、市内には8カ所の音響信号機があり、シグナルエイドを持って



音響信号機を作動させるリモコン装置・シグナルエイド

いる視覚障がい者は2人のみであることを明らかにしながら、音響信号機について「調布署に要望を伝えていく」と答弁。音響信号機の場所やシグナルエイドの存在を知らせることについては、「視覚障がい者団体の声を聞き検討していく」と答え、点字ブロックについては都市建設部長が「都との協議が必要」と答えました。

視覚障害者と一緒に調布署に要望

私、荒木てつは、5月9日に続き、7月12日に調布署を訪ね、音響信号機の増設を再度要望しました。

5月9日に対応された酒井優一交通規制係長が「視覚障害者の方の声を聞きたい」と言われていたので今回は、狛江視覚障害者の会の伊藤聡子さんと一緒に訪問し要望を伝えました。

5カ所の設置を要望

伊藤さんは、音響信号機に関する5項目の要望書を提出、日頃困っていることについて話をされました。

要望書では、①きらぼし銀行和泉多摩川支店前の交差点、②市役所前交差点の4カ所中未設置の2カ所、③市民センター前交差点の4カ所中未設置の2カ所、④上泉地域センター前交差点、⑤市民体育館前交差点への音響信号機の設置を求めています。

調布署「体育館前は設置予定。他は今後検討する」

調布署側は、「市民体育館前の交差点については、他からも要望があり、設置する方向で動いている。他の4つについては今後検討する」と回答しました。また音響信号機の誘導音が24時間出るようにすることや、交通量の多い交差点では音響信号機のあることを知らせる音を大きくすることも要望しこれらについても検討する約束しました。私、荒木てつはひきつづき、視覚障害者が安心安全に暮らせるようがんばります。

供養塚公園に防犯カメラと街路灯が設置されました



←街路灯

防犯カメラ→

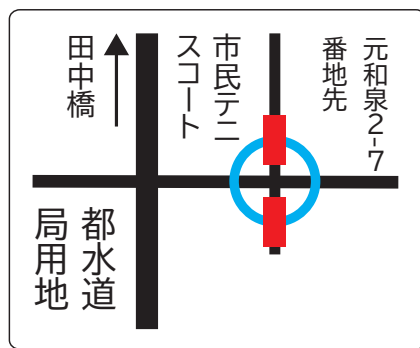
私、荒木てつは、今年1月に駒井町で強盗殺人事件が起きた直後に住民から要望があった、供養塚公園への防犯カメラと街路灯の設置にとりくんできました。その結果、5月末までに供養塚公園の時計塔の柱に防犯カメラが設置されました。また街路灯は、隣の防災無線のスピーカー用の柱に設置されました。



改善後、6月1日撮影



改善前、5月8日撮影



元和泉の路面標示が鮮明になりました

5月9日に調布署に申し入れた元和泉交差点の「止まれ」の路面標示が塗り直され鮮明になりました。この交差点については住民から、自転車通行中に車とぶつかったという報告があり、現場を確認してみたところ「止まれ」の標示がかすれて見えなくなっていました。そのため早急な改善を調布署に申し入れていました。1か月弱で改善され良かったです。

市議会議員 荒木てつ「なんでも相談」

自宅：猪方3-14-14 携帯：090-2447-4072

mail：techiemi-a@softbank.ne.jp